



標榜診療科の 届け出変更を行いました

☆☆☆ 新しい標榜診療科による体制 ☆☆☆
(主たる担当医師)

- 内科 (坂口、速水、杉山、浅井、間嶋、片山)
- 消化器内科 (浅井)
- 血液内科 (杉山)
- 神経内科 (片山)
- ペインクリニック内科 (上田)
- リハビリテーション科 (藤井)
- 整形リハビリテーション科 (藤井、滋医大)
- 脳神経リハビリテーション科 (藤井、片山)
- 歯科 (毛利、田中)

診察曜日・時間は地域連携室にご確認ください

「病院だより第2号」でご案内の通り、当院は一昨年からの診療体制の充実に努めてまいりましたが、この度上記のように標榜診療科の変更届け出を行いました。今日までの診療により専門的な診療を加え、地域の皆さんのご要望、期待に応えたいと考えています。また地域の診療所の先生方には、先生方の在宅診療を支えることができる病院としての機能充実に努める所存です。また急性期医療を地域で担っていただく病院とは、今日まで以上に医療連携の質を高め、いっそうの期待に応えられるよう努めてまいります。

■ 回復期リハビリテーション病棟

このような患者さんはおられませんか？
急性期病院での積極的な入院対象ではないが・・・

《腰椎圧迫骨折を代表とする脊椎骨折》
在宅での生活を送っていた方が、尻もち等の受傷帰転が明らかで、その後の腰痛でADLが制限された場合

ペインクリニック内科の ご案内

琵琶湖中央病院ペインクリニック内科では、主として慢性疼痛を扱っています。慢性疼痛では、痛みの局所的な原因が不明であったり、また原因が分かっても固定化して、その原因の除去が困難である場合が多くみられます。痛みが慢性化しますと心理的、社会的な要因が加わり複雑な様相を示します。これらが全人的苦痛をもたらしQOLは低下します。当科ではペインクリニック的手法を用いて痛みを緩和することを目的としています。神経ブロック、ハリ治療、漢方療法などを多角的に用いて痛みの緩和に努めています。肩こり、慢性頭痛、ヘルペス後神経痛、頸肩腕症候群、慢性腰痛、慢性下肢痛などが対象となります。

私は麻酔科医ですが、京都大学では村山良介先生のもとでペインクリニックの研修を始めました。また大阪医大の兵頭正義先生の指導をも受け、東洋医学的手法を慢性疼痛の治療に導入しました。大阪歯科大学では、頭頸部の慢性疼痛について治療にあたってきました。

現在医療は「セルフケア」の考え方が主流となっていますが、「慢性疼痛」の治療は、患者さん主体の「セルフケア」によって好結果を得られるものと考えています。

対象患者さんがおられましたらご紹介いただければ幸いです。よろしく申し上げます。

ペインクリニック内科

上田 裕

